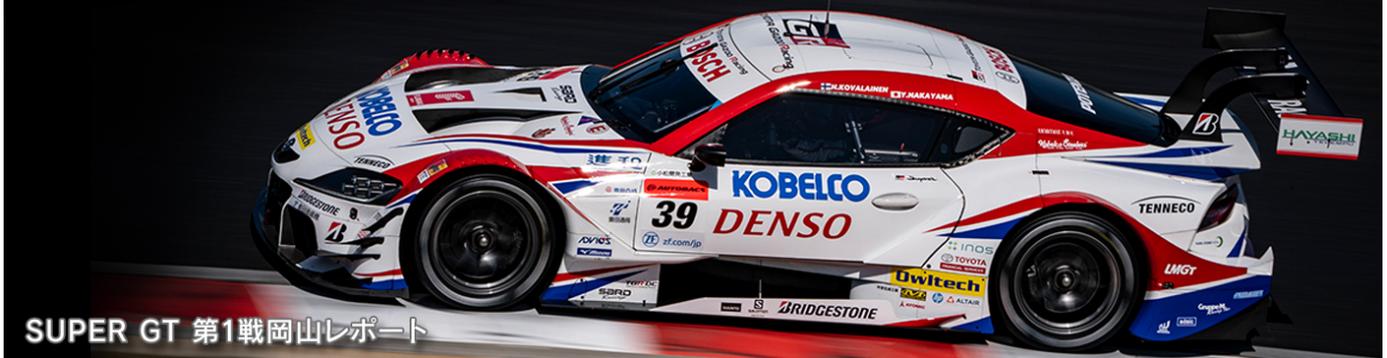


2021年4月12日

## DENSO KOBELCO SARD GR Supra 開幕戦岡山、次につながる4位フィニッシュ



SUPER GT 第1戦岡山レポート

### 2021 SUPER GT 第1戦「たかのこのホテル OKAYAMA GT 300km RACE」(4/10-11)

#### 岡山国際サーキット(1周3.703km)

4月11日(日)、2021年シーズン開幕となるSUPER GT第1戦「たかのこのホテル OKAYAMA GT 300km RACE」の決勝が行われ、4番グリッドから勇往邁進に勝利を目指していったDENSO KOBELCO SARD GR Supraは、セーフティカーが計2回導入される波乱のレース展開の中で、序盤は予選順位をキープするステディな走り。33周終了時にピットワークで3位に浮上する躍進を見せ、確実な走りで周回数をこなしていたが、左フロントエアロパーツを300クラスと交錯した際に破損しペースを上げられず。56周目、序盤レースをリードしていた37号車にかわされるも、追いつがる後続勢を見事に押さえ込む堅い守りの走りで、次につながる4位フィニッシュを果たした。

ドライバーポイントは8点、チームポイントは11点を獲得し、ランキング4位で2021年をスタートした。次戦は、5月3日(祝・月)・4日(祝・火)に富士スピードウェイで第2戦として開催される。

#### ■事前情報

いよいよ待ちに待った2021年シーズンが開幕。新型コロナウイルス感染拡大の影響で様々な感染対策や制限を講じながら有観客での開催。開幕戦の舞台となる「たかのこのホテル OKAYAMA GT 300km RACE」(岡山国際サーキット)は、2019年開幕戦以来の開催となる。今季の参加車両が初めて一堂に会し3月に行われたGTA公式テスト岡山で、DENSO KOBELCO SARD GR Supraはセッション3でトップタイム、2日間総合2番手タイムをマークするなど、順調にシーズンオフテストをこなし、昨年からの勢いを維持しながらチームとして成長を続けている。



開幕戦はハンディウェイトが各車とも0kgのノーウェイト。公式予選は両ドライバーが1回ずつアタックするノックアウト方式(Q1とQ2)でスターティンググリッドが決定し、決勝は300kmでタイヤ交換&ドライバー交代のピットストップ1回が必須。2年振りの開催となる岡山は過去にF1も開催されたことがある中低速中心のテクニカルコースで、1周約3.7kmとコース距離が短くコース幅も狭いながらもダイナミックなパッシングポイントがあり、ボディをこすり擦り合わせながら繰り広げられるバトルがすぐそばで見られる迫力満点の臨場感が体感できるサーキット。3年目の不動のコンビであるヘイキ・コバライネンと中山雄一を擁するTGR TEAM SARDを率いて2年目のシーズンとなる脇阪寿一監督のもと、チーム一丸となって勇往邁進に勝利を目指し突き進んでいった。

## ■公式練習走行

10日（土）9時45分から開始された公式練習走行は、快晴ながらも朝は冷え込み、気温8度/路面温度21度の肌寒いコンディションで85分間の混走セッションが開始された。埃などがはけて路面状況が改善された、セッション開始から10分ほど経ってから中山がコースイン。ソフト側ドライタイヤを装着していたが、なかなかタイヤが温まらない状況。10周目からはハード側タイヤを装着してタイヤ評価を18周実施し、1分19秒770の10番手タイムを記録。続いてヘイキが中山が装着した両方のタイヤを長めに走ってフィーリングを22周して確認。最後にセット変更を行って混走セッションを終えた。10分間のGT500単独セッションでは、ヘイキがソフト側のタイヤでアタックシミュレーションを実施し、1分19秒535の14番手のタイムとなった。公式練習走行ではトータル51周を走行。好調だった公式テストのようなフィーリングが得られずに車両データを徹底的に解析を行い、午後の公式予選に向けてセットの見直しを検討していくこととなった。



## ■公式予選

### ■Q1：ヘイキが0.017秒差の8位でQ2進出を決める

10日（土）Q1開始時点では気温15度/路面温度33度の晴れ。午前中と比べて暖かさが出てきて、残り8分半ほどでコースインしたファーストアタッカーのヘイキ。公式練習走行で温まりに時間がかかるがフィーリングの良かったハード側タイヤを装着して、じっくりと芯まで丁寧にタイヤに熱を入れていく。早めにペースを上げていったが、4周目に前走車に詰まり、うまくかわしたがタイヤの温めに若干ロスを喫してしまう。気を取り直して5周目にアタックに入り、セクター1を自己ベスト更新しながら、セクター2で33秒台とトップレベルの区間タイムを叩き出す。セクター3もフルフラットの全開で攻めていくヘイキは、カットライン以下9位と僅か0.017秒差の8位でQ2進出を決めた。



### ■Q2：中山が4つポジションアップの4番グリッドを獲得

Q2開始時点では気温17度/路面温度32度。開始から残り8分半ほどでコースインした中山。Q1を戦ったヘイキのアドバイスとデータから同じくハード側タイヤを装着して入念にタイヤを温めていく。5周目にアタックに入ったセクター1でヘイキのタイムを上回るペースで期待がかかるタイムを刻む。セクター2で大きく更新してセクター3も自己ベストをマーク。まずは上位に躍り出る。さらにアタックを続け、セクター1でコンマ2秒近く削る速さを見せていく気合いの中山。セクター2、3でほんの僅かにタイムが伸びずも、ベストタイムを更新。中山が4つポジションを大きく上げる健闘の走りでも、中山が4つポジションを大きく上げる健闘の走りで4番グリッドを獲得した。



## ■決勝

### ■ウォームアップ走行

11日（日）11時55分から開始されたスタート前20分間のウォームアップ走行は、暖かさが増していく快晴で気温18度/路面温度33度のコンディション。まずは中山が2ステイント目用のタイヤを皮むき、続いてスタート担当のヘイキが決勝スタートタイヤと同スペックの24周走行したハード側タイヤを装着してロングランを実施。決勝セットの確認が中心となったウォームアップは、1分22秒～25秒台のペースで周回を重ね14周を走行し、1分22秒491の13番手タイムとなった。

## ■決勝レース

### 第1スティント：ハイキがステディにポジションキープ

11日（日）13時30分決勝スタート時点は気温19度/路面温度36度と日差しの暖かい快晴のコンディションの中、スタート担当のハイキが2列目4番グリッドから勇往邁進に勝利を目指していったDENSO KOBELCO SARD GR Supraは、整然としたスタートとなった開幕の序盤3周目にはセクター1で全体ベストタイムを刻みながら安定した走行。7周目に1回目のセーフティカーが導入され12周目に解除後も、トップから10秒圏内を走りながら予選順位をキープするステディな走り。途中タイヤカスが付いてペースが鈍るも直ぐに回復して安定感のある走りでピットタイミングを図る堅実さを見せる。ドライバー交替が許される28周を超えてもペース良く走行していたが、33周を終え300クラスのコースオブ車両が出た直後、脇阪寿一監督が直ぐさま動き、ハイキをピットに呼び戻した。



### 第2スティント：中山が後続を振り切り4位フィニッシュ

セーフティカーが導入されると予見されたため、大混乱となったピット作業エリアであったが見事なチームワークで素早く中山を送り出すと3位に浮上する躍進を見せる。ピットアウトした直後に2回目のセーフティカーが導入され、39周目を終えてレースが再開されると、中山が気合いの走りで21秒台を連発して3位のポジションをキープ。その後も確実な走りで周回数をこなしていたが、左フロントのエアロパーツを300クラスと交錯した際に破損してペースを上げられず。56周目、序盤レースをリードしていたペースの速い37号車にかわされてしまい、4位に後退。だが手負いのクルマながらも懸命なドライビングで、追いつがる後続勢を見事に押さえ込む堅い守りの走りで、次戦につながる4位フィニッシュを果たした。決勝は終始上位で走行し、良いデータも悪いデータも得られ、次戦までに徹底して解析してクルマを速くする検証ができる収穫の多いレースとなった。

ドライバーポイントは8点、チームポイントは11点を獲得し、ランキング4位で2021年をスタートした。次戦は、5月3日（祝・月）・4日（祝・火）に富士スピードウェイで第2戦として開催される。





### ■ハイキ・コバライネン

「この週末はとても苦しい週末になった。クルマの状況はテスト時と比べてフィーリングが違っていた。予選はユウイチサンの頑張りで4位と良い位置からスタートできたけど前の3台と比べて決勝でも速さが足りなかったね。ピットワークの速さで3位浮上と助けられ、レース運び自体は、これまで以上にチームの強さがあると感じている。2年目のジュイチサンと3年目のドライビングパートナーのユウイチサンと、まずまずのシーズンスタートが出来たことで、次に期待して欲しい。得られた良いデータと悪いデータを精査してインターバルの間に良いクルマに仕上げ、熱い声援を送ってくれたパートナーやファンの皆さんに次戦の富士では表彰台をプレゼントできるように頑張りたい」



### ■中山 雄一

「シーズンオフテストの好感触からすると今週末の流れは決勝結果以上に悔しい結果になりました。その決勝、ずっと追われ続けた40周でした。エアロパーツが壊れフロントのダウンフォースを失っていた中で、なんとか4位を死守できたのは良かったです。予選日までの問題は決勝でも解決せず、苦しい展開でした。ブリヂストンタイヤとスーラのパフォーマンスに助けられましたが、その持っている力をまだしっかり発揮できていません。シーズンオフテストの感触が、全くなくなってしまったのが残念で悔しいですが、次の第2戦富士に向けてチーム一丸となって解決して、優勝を狙います。引き続き応援よろしくお願い申し上げます」



### ■監督 脇阪 寿一

「決勝4位でした。苦しんでいた週末の悪い状況の中で最良の結果だと思います。ドライバー、チームスタッフは良く頑張ってくれました。クルマを持ち帰り、時間をかけてじっくり見直します。シーズンオフに積み重ねてきた事が活かさないクルマの状況でした。昨シーズンから、だんだん成長してきたなと思っていましたが、まだまだ。これも与えて頂いた試練だと思い、これを乗り越えた先にさらに大きな成長があると思っています。皆様に一層応援していただけるように頑張っていきますので、引き続きご支援ご声援のほどお願い申し上げます！最後に、優勝したルーキーレーシングの皆さん、おめでとうございます」

## ■Qualifying Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time	WH
1	37	KeePer TOM'S GR Supra	平川 亮／阪口 晴南	*1'17.701	0
2	14	ENEOS X PRIME GR Supra	大嶋 和也／山下 健太	*1'17.808	0
3	36	au TOM'S GR Supra	関口 雄飛／坪井 翔	*1'18.060	0
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	H.コバライネン／中山 雄一	*1'18.440	0

天候：晴れ、コース：ドライ、Timeの\*印はQ2ベスト

## ■Race Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time/Diff	Laps
1	14	ENEOS X PRIME GR Supra	大嶋 和也／山下 健太	2:06'55.425	82
2	36	au TOM'S GR Supra	関口 雄飛／坪井 翔	+1.187	82
3	37	KeePer TOM'S GR Supra	平川 亮／阪口 晴南	+13.621	82
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	H.コバライネン／中山 雄一	+30.142	82

天候：晴れ、コース：ドライ、3.703km×82Laps

## Drivers Ranking

Pos.	No.	Driver	Total
1	14	大嶋／山下	20
2	36	関口／坪井	15
3	37	平川／阪口	12
4	39	コバライネン／中山	8

Point standings after Rd.1

## Team Ranking

Pos.	No.	Team	Total
1	14	TGR TEAM ENEOS ROOKIE	23
2	36	TGR TEAM au TOM'S	18
3	37	TGR TEAM KeePer TOM'S	14
4	39	TGR TEAM SARD	11

Point standings after Rd.1

## Partners

**TOYOTA**

**Owltech**

**TOYOTA**  
FINANCIAL SERVICES

小松開発工業

**salomon**  
SPORTSWEAR

**Mechanix WEAR**

**Kobelco Steelers**  
KOBELCO STEEL RUGBY CLUB

**GR TOYOTA**  
GAZOO Racing

**TENNECO**

豊田通商

**JMS**

**SUUNTO**

**MAKE WINNER**



**DENSO**

豊田自動織機

**FUJIMAKI**  
GROUP

中京化成工業

**ATOMIC**

**GruppeM**  
Racing Inc.

**KOBELCO**

**JTEKT**

**INOS**

**Mizuno**

KARL STORZ ND Tec

UNIMAT LIFE

Racing Development  
**TRD**

豊田合成

**HAYASHI**  
TELEMPU

**BBS**

**ALTAIR**

**admic**

**BRIDGESTONE**

**進和**

**ADVICS**

**hp**

**MOTUL**

## 情報参照先

- サード公式サイト : <http://www.sard.co.jp>
- SARD Facebook : <https://www.facebook.com/SARD.Corporation>
- SARD Twitter : [https://twitter.com/SARD\\_Racing](https://twitter.com/SARD_Racing)
- SARD Instagram : [https://www.instagram.com/team\\_sard/](https://www.instagram.com/team_sard/)
- SARD YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCb5NIgwvcB7MtooRFaF5FVA>
- SUPER GT : <http://supergt.net/jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: [media@sard.co.jp](mailto:media@sard.co.jp)

**SARD**

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50  
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

[www.sard.co.jp](http://www.sard.co.jp)